

会議録

会議の名称	令和元年度第1回加東市児童館運営委員会										
開催日時	令和元年7月8日(月) 午後1時00分から午後2時40分まで										
開催場所	加東市役所1階 101会議室										
<p>議長の氏名 (委員長 鈴木 正敏)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】5人</p> <p>鈴木 正敏 委員長 長谷川 智子 委員 稲見 圭伊子 委員</p> <p>平川 真也 委員 岡田 知佳 委員</p> <p>【欠席委員】0人</p>											
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>無し</p>											
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>加東市教育委員会</p> <table> <tr> <td>こども未来部長</td> <td>広西 英二</td> </tr> <tr> <td>こども教育課副課長</td> <td>稲岡 めぐみ</td> </tr> <tr> <td>こども教育課主事</td> <td>森本 紗知</td> </tr> <tr> <td>同上</td> <td>坂本 亮太</td> </tr> <tr> <td>加東市児童館長</td> <td>依藤 洋子</td> </tr> </table>		こども未来部長	広西 英二	こども教育課副課長	稲岡 めぐみ	こども教育課主事	森本 紗知	同上	坂本 亮太	加東市児童館長	依藤 洋子
こども未来部長	広西 英二										
こども教育課副課長	稲岡 めぐみ										
こども教育課主事	森本 紗知										
同上	坂本 亮太										
加東市児童館長	依藤 洋子										
<p>○議事及び会議結果</p> <p>議事(1) 協議事項「平成30年度加東市児童館の運営及び事業の点検と評価について」</p> <p>事務局が、資料①-1から③に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>議事(2) 報告事項「令和元年度加東市児童館事業計画について」</p> <p>事務局が、資料④から⑦に基づいて説明し、各委員からご意見をいただきました。</p> <p>議事(3) その他</p> <p>特になし。</p>											

○会議の経過

【開会】

- ・会議の公開、諮問についてのお知らせ
- ・あいさつ（鈴木委員長）
- ・自己紹介（委員及び事務局）
- ・資料確認

【議事】

議事（１）協議事項「平成３０年度加東市児童館の運営及び事業の点検と評価について」

- ・事務局が資料①－１から③までを説明、その後に委員による質疑応答。

（委員）

現在子どもが２人おり、上の子ども（５歳）は動き回りたいが、下の子ども（１歳）はまだ上の子のように走り回ることができない。児童館に行けば外の広場で走り回って遊ぶことも屋内で遊ぶこともできるし、児童館で開催されている行事もいろいろな年齢向けのものがあるので参加しやすい。児童館について、親子が１対１で関わるができる場所だという認識はあったが、それに加えて年齢の違う子どもを連れて行った時に二人とも楽しめる場所でもあるという認識を持つことができた。

（委員長）

今後、上の子どもが小学生になっても、小学生向けの教室もあるから児童館に行くことができる。

（委員）

普段よく行くのはやしろこどものいえだが、屋内でも屋外でも遊べ、屋内から屋外で遊ぶ子どもの様子を見ることができ安心である。お金もかからず、良い場所だと実感した。

（委員）

資料①－２の来館者数の推移のグラフを見て、平成３０年度の７月の来館者の減少が大きく、休館日数が多いと来館者数にこんなにも影響が出るのかと思った。

（委員長）

特に平成３０年７月のやしろこどものいえの減少が顕著である。豪雨などによる休館は仕方がないが、平成３０年度の後半はイベントの開催によって来館者が増え、平成２９年度を超える人数であった。

（委員）

現在、子どもが保育園に通っているため、児童館に行くことが減っている。自主サークルについても定期的に開催しておらず、リーダーが声をかけて集まれる人だけ集まるという現状であるため、私自身も最近は子どもと児童館に行けていない。

（委員長）

今年の１０月から始まる幼児教育無償化の影響で、保育園（こども園）への入園を希望する人が増える可能性があり、児童館の来館者数にも影響するのではないか。休日の来館に期待したい。

（委員）

中学生や高校生の来館が少ないが、事業内容や現在の中学生・高校生の忙しさもあり、

児童館へ呼び込むのはなかなか難しそうである

子どもの人口の絶対数が減っている中でこれだけの来館があるのは、利用者が児童館に魅力を感じているからと考えられる。特に乳児の来館を増やすには保護者のニーズを捉えることが必要であり、それができている証拠である。天候や行事による影響はあったが、平成30年度の来館者数は下半期に大きく増加しているため、この傾向が今年度にもつながれば良いと思う。

(委員)

平成30年度の事業報告の中で、「ママともひろば」が非常に良い取り組みだと感じたので説明願う。母親同士の交流でどんな話題が出ているのか。

(事務局)

ママともひろばの対象は各年度内に生まれた0歳児の母親、つまりサークルに参加する資格がなくどこにも所属していない母親である。多くは初めて子育てをする第1子の母親だが、第2子以降の人もある。

中心となる話題は「子育てで一番困っていること」。子育てに関する小さなことでも第1子の母親にとっては分からないことが多いため(洗濯、離乳食、お風呂など)、第2子の母親からアドバイスを受けることで少しでも楽に子育てができるようになっていっているのではと思う。他にも最新の子育てグッズに関する情報の交換など、母親にとって子育ての悩みを打ち明ける身近な場となっている。アドバイスを聞くことで納得する母親もいるし、最終的なまとめの会で専門家の先生の打ち出す方向性を聞いて納得する母親もいるので、様々な角度から子育てに関する悩みの解消の手助けになっていると思う。

(委員)

東条鯉こいランドで実施している「ママとベビーのほのぼのルーム」の現状についても説明願う。

(事務局)

ひろば事業の一環であり、参加者は15組程度だが、他のひろば事業と違い申し込み制である。偶数月はベビーヨガを、奇数月はわらべうた遊びやおもちゃ作りを楽しむ事業で、ほぼ毎回定員に達している。

(委員)

東条鯉こいランドがある南山地区には若い母親が多く、南山へ移住してきた母親たちのつながりづくりの場になっているのではと思う。

(委員長)

児童館には今後も地域の子育て拠点としての役割を担ってほしい。

議事(2) 報告事項「令和元年度加東市児童館事業計画について」

・事務局が資料④を説明、その後は委員による質疑応答。

(委員長)

今年度は地域とのつながりづくりを目標に活動していくとのこと。

(委員)

様々な年齢の子どもに向けていろいろな企画を考えているという印象を受けた。特に東条鯉こいランドが南山地区の若い母親とのつながりを構築しているのではと思う。児童館は地域から孤立しがちな0～3歳児の親子と地域の両者をつなぐことができる場所であるため、社会福祉協議会も協力していきたい。

(委員)

市内の小学校とのつながりとして飛び出せ児童館事業を挙げているが、今後どのように進めていくのか。学校行事との兼ね合いはあるが、南山地区が校区に含まれている東条東小学校など現在実施していない学校でも行う予定なのか。

(事務局)

児童館としては全小学校で実施したいと思っているが、学校側との調整などの理由で実現には至っていない。

(委員)

学校のプログラムの中で新しい行事を増やすのは難しい。他の行事との兼ね合いを考えながら連携事業に取り組んでいきたい。

(事務局)

児童館からもサークルやグループ所属の母親に声をかけてどんどん協力していきたい。

(委員)

学校側も児童館にそういった事業があり、他の行事と重ならず実施できることが分かれば、協力的になれるのではと思う。

(委員長)

全ての学校で行うことが理想であり、児童館側もそうしたいとは考えているが、現実的に難しい部分があるため少しずつ増やしてほしい。

(委員)

自主サークルの数が減っていることに驚いた。私自身も上の子どもがこども園に入ってから児童館から足が遠のいていたが、上の子どもが児童館でお世話になったので下の子どもとも児童館へ行こうと利用者が思えるような施設だと思う。また、自分が子どもと児童館に行っていた頃に知り合った親同士、子ども同士のつながりが今も続いている。

(委員長)

保育園や学校のように、児童館も子育ての場となっている。
昨年度と同様に、今年度も事業の推進をよろしく願います。

・事務局が資料⑤-1から⑦までを説明、その後は委員による質疑応答。

(委員長)

今年度について、児童館に来る父親が増加傾向にある。

(委員)

以前は全然来ていなかった。

(事務局)

特に土日の来館が増えてきている。父親が子どもを児童館へ連れて来る姿や、自主サークルへ母親の代わりに参加する姿が見られる。

(委員長)

今年の5月に開催された清水寺登山への参加が、児童館に来る良いきっかけになったのかもしれない。講演会等への参加が増えているのが喜ばしい。今後も増えていけば良いと思う。

議事（3）その他

- ・特になし。

【閉会】

- ・事務局より連絡（次期の委員任期について）
- ・閉会のあいさつ（広西部長）

○当日資料

- 資料①-1 児童館来館者数（平成25年度～平成30年度）
- 資料①-2 平成30年度 児童館来館者数（前年度との比較）
- 資料①-3 平成30年度 児童館来館者数の内訳
- 資料② 平成30年度 「かとう子育てねっと」運営状況
- 資料③ 平成30年度 児童館主要事業実績
- 資料④ 令和元年度 児童館運営方針
- 資料⑤-1 令和元年度 児童館来館者数（前年度との比較）
- 資料⑤-2 令和元年度 児童館来館者数の内訳
- 資料⑥ 令和元年度 児童館主要事業スケジュール
- 資料⑦ 令和元年度 児童館年間活動計画表

令和元年 9月 6日

委員長

鈴木正敏

